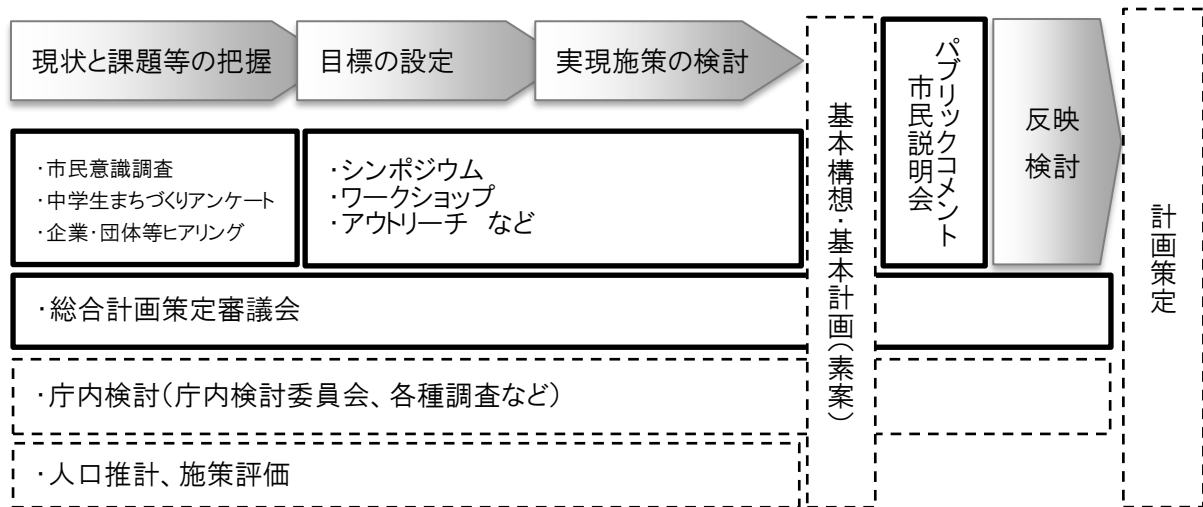


西東京市第3次総合計画策定に係る市民参加について（案）

■ 計画策定の流れ



- ・第2次総合計画における成果や残された課題などは、市民意識調査等による客観的な評価及び庁内における施策評価等により把握・整理を行う。
- ・第3次総合計画の内容につながる部分は、令和4年度に行う市民参加を通して市民意向やアイデアを得ながら、本審議会や庁内検討において協議していく。



【市民参加の目的】

- 新たな10年間を描く総合計画の策定について、市民に周知するとともに、市民参加の機運を醸成する。
- 西東京市を取り巻く状況を学び、まちづくりの現状・課題や今後10年間について考える。
- 計画の実現に向けての担い手としての意識を育む。



【市民参加を実施する上での工夫】

- 多様な世代や立場の参加機会を拡大する。(子ども、若者、マイノリティなど)
- 身近なテーマからまちづくりを考える。
- 意見・要望だけでなく、市民一人ひとりがまちづくりの担い手として考える。

(参考) 基本方針(令和3年度策定)で示した市民参加のあり方

- ・多様な世代や立場の人との関わり
- ・つながりや関係づくりを重視した市民参加プロセスによる参加機会の拡大
- ・学びや気づきを得られ、主体的な参加につながる仕組みづくり

1. (仮称) まちづくりシンポジウム

(1) ねらい

- ・令和4年度から本格的にスタートする、第3次総合計画策定のキックオフイベントとして、基礎調査の結果や基本方針を市民に報告するとともに、計画づくりへの参加や協働まちづくりへの機運を高めることを目的として開催する。
- ・特に、サイレントマジョリティーになりやすく、今回の市民意識調査の回答回収率が低かった10代、20代の若者世代をターゲットとする。若者に対して、市民参加の意義を啓発し、シンポジウム後に実施するワークショップへの参加を促すために、若者が登壇して自身の活動内容や意見表明を行う。

(2) 実施時期

令和4年6月または7月の週末

※候補日：令和4年6月26日（日）または7月2日（土）

(3) 場所

コール田無

(4) 概要

時間	プログラム	内容	担当(案)
13:30	開会あいさつ 総合計画について	・審議会会長よりあいさつ ・総合計画についての説明 ・次の10年を考えるまちづくりの6つの視点（基本方針）について	伊藤会長
13:45	報告	・基礎調査（市民意識調査、中学生まちづくりアンケート、企業・団体等ヒアリング）の結果報告	審議会委員
14:00	パネルディスカッション	・地域活動や社会で活躍する若者がパネラーとして参加 ・自身の活動内容の紹介 ・テーマをもとに意見交換を行う	調整中
14:50	市長とトーク	・市長と若者とのフリートーク	調整中
15:25	閉会あいさつ		調整中

(5) 周知方法

- ・広報やホームページなどによる周知
- ・令和3年度実施の企業・団体等ヒアリング対象者への声かけ など

2. (仮称) 子どもワークショップ

(1) ねらい

次世代を担う小学生高学年・中学生を対象に、西東京市が目指すべき姿（将来像）や西東京市のまちづくりにとって重要なテーマについて、子どもの目線からの意見を把握する。

(2) 実施時期

令和4年7月下旬から8月上旬の2日間（夏休み中の平日）

(3) 対象及び募集方法

- ・市内在住の小学生高学年・中学生：20名～30名程度
- ・募集方法：広報、ホームページ、SNSなどにより募集。市内の小・中学校にも周知、協力を願う。

(4) 概要

【第1回】

プログラム	内容
説明	・西東京市の基本情報について ・西東京市の魅力について 等
グループワーク	子どもが楽しんでまちづくりに興味を持ってくれそうな取り組みを実施。

→第1回の成果は、西東京市の将来像（基本構想）を検討するための基礎資料として活用あわせて、第2回の検討テーマの抽出にも活用。

【第2回】

プログラム	内容
グループワーク	グループごとに検討テーマを設定し、第1回の結果等を踏まえて西東京市の将来像を描く。

→第2回の成果は、西東京市の将来像や分野別の方向性（基本構想）、施策別取組内容（基本計画）を検討するための基礎資料として活用。

3. (仮称) 市民ワークショップ

(1) ねらい

令和3年度に実施した市民意識調査や企業・団体等ヒアリング等の結果から得られる各分野における西東京市の現状と課題を踏まえ、西東京市が目指すべき姿（将来像）やまちづくりの方向性、課題解決に向けた取組アイデアなどについての市民意見を把握するため、幅広い世代を対象にワークショップを行う。

(2) 実施時期

令和4年8月中旬～下旬の週末（2回を予定）

(3) 対象及び募集方法

- ・市内在住勤務の高校生以上の市民：40名程度
- ・募集方法：広報、ホームページ、SNS、チラシ配布などにより募集

(4) 概要

【第1回】

プログラム	内 容
説明	<ul style="list-style-type: none"> ・総合計画について ・基礎調査の結果について ・西東京市の基本情報について ・西東京市の魅力について 等
グループワーク	<p>西東京市でどのように暮らしていきたいかを描く。 ※まちづくり人生ゲームなど。</p>

→第1回の成果は、西東京市の将来像及びまちづくりの方向性（基本構想）を検討するための基礎資料として活用。

【第2回】

プログラム	内 容
グループワーク	<ul style="list-style-type: none"> ・分野ごとの現状と課題を把握する ・市民ができる取組を考える

→第2回の成果は、施策別の取組内容（基本計画）を検討するための基礎資料として活用。

4. 市民参加の経過報告（発表）

（1）ねらい

一連の市民参加の成果について、広く市民に発信するため、パブリックスペース等を活用した経過報告（発表）を行う。

（2）実施時期

令和4年10月頃

（3）場所

公共施設や民間施設のパブリックスペース等

（4）概要

これまでの市民参加の経過を示したパネル等を作成し、一定期間常時展示する。

5. アウトリーチ

（1）ねらい

行政によるサポートを特に必要としている人ほど、市民参加の場には出てきにくい状況があるため、当事者やその支援者の声を計画に反映していくために、地域に出向いて意見聴取を行う。

（2）実施時期

令和4年5月～9月頃 ※随時実施

（3）対象

様々な困難を抱えた当事者やその支援者や乳幼児がいる家庭など、一連の市民参加の場

だけでは意見把握が十分でなかった方。

(4) 概要

各課で所管するイベントへの参加（アンケートの実施）や、各課で関係のある団体や個人へのヒアリング等を行う。